

早稲田医療専門学校

稲 鍼 会 会 報

平成 20 年度発行



【稲鍼会会長挨拶】

稲鍼会会長 高橋 次雄



稲鍼会の皆様、ご健勝でご活躍のことと存じます。

早いもので今年も残りわずかとなりました。思えば今年の前半は北京オリンピックで世界中大いに盛り上がり、オリンピックが終わったとたん後半は世界大不況に見舞われているといった極端な年でした。まだ 2008 年は終わってはいませんが状況はさほど変わらないでしょう。

明るい話題といえば、前半でオリンピック連続の金メダルを期待された北島康介選手が期待どおり金メダルを二個も取って、日本国民を勇気付けたことでしょう。日々の鍛錬が大舞台で本領を発揮できるエネルギーを熟成

しているのでしょうか。ただ残念なことは女子マラソン優勝候補の野口みずき選手が直前の体調不良でリタイアしたことですよね。本当に人生どんなことがあるかわかりませんので、皆さんもご健康にはぜひお気をつけください。

ふりかえって、わが早稲田医療学園も日々鍛錬し、日本といわず世界の医療に貢献すべき邁進しております。早稲田医療専門学校はこれまで多く優秀な人材を医療界に輩出してきましたが、来年 4 月からは「人間総合科学大学鍼灸医療専門学校」と改名し、さらなる研鑽の環境を充実することになりました。時代に即応した新たな環境でグローバルな医療人育成に尽力することになるでしょう。大いに期待したいものです。

稲鍼会もこれを機会に新たな出発点に立ち、ホームページのグレードアップやアクティブな活用、公開講座の発展、総会の充実等課題をふまえ、新生稲鍼会として学園ともども飛躍の年にしたいと思っております。

ところで、私は仕事の合間に気分転換に仲間と体によい健康法をしております。実はスポーツとしてはマラソンをしているほか、社会人バンドでトランペットを吹いて音楽演奏を楽しんでいます。音楽は精神修養に良いといわれますが、病氣療養中の方の早期回復にも効果的であるといわれます。人間は心と体の相関によって生命を維持しているのでそこに潤滑油のように流れる音楽はまさに透明な良薬とでもいえるでしょう。

私たちのバンドは、3 年前 50 周年記念の高校吹奏楽 OB 会でやろうということになり、それ以来続いているものですが、世界企業の第一線で活躍している者たちもお情報交換ができ、話題に花が咲き仕事も疲れも吹っ飛びます。

今年は OB 会の総会や新人歓迎会、新宿音楽祭、チャリティーコンサート等に出て好評を得ました。不況風の吹く昨今、このような時こそ心に希望を持ち心を癒す音楽で元気を蘇らせることも必要なのではないのでしょうか。

ぜひ稲鍼会の皆様も時には音楽で潤い疲弊している日本社会復興のためにも頑張ってゆこうではありませんか。

平成 20 年 12 月吉日 稲鍼会会長 高橋 次雄



【名誉会長挨拶】



稲鍼会名誉会長 久住 眞理

今年は、リーマンブラザーズの経営破綻から始まった経済不況が世界中に広まっておりますが、先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。来年度より、早稲田医療専門学校は人間総合科学大学鍼灸医療専門学校に校名を変更することになりました。以前より人間総合科学大学と連携してまいりましたが、よりいっそう連携を密にした教育をしていくための校名変更です。また来年度より「臨床専攻科」を開設いたします。鍼灸業界でも大学化が始まっておりますが、3年間で免許を取り臨床に出られるとい

う専門学校の長所を残しながら、4年次教育という高等教育を両立させるために開設致しました。3年間で国家資格を取得したのち、「臨床専攻科」へ入学すると、人間総合科学大学の4年次に編入し、さらに臨床専攻生として講義を受けながら臨床研修を同時に行っていくことができるようなカリキュラムとなっています。

一方大学のほうでは、今年度の人間総合科学大学の一大事業として「心身健康科学シリーズ」を発刊いたしました。Knowledge for well-being—よりよく生きるために—と題し全6巻構成となっております。「いかに充実した人生を送るか」。そのためには「健康でいることが重要」であること。それが「生活の質の向上」につながり、最終的には人生を「生ききる」ことにつながるのではないのでしょうか。

大学の学部では、一番新しく開設されました健康栄養学科が完成年度となりました。それに伴い、健康栄養科学専攻の修士課程（通学制）が来年度開設いたします。生命の根源である「食」を中心に、心を育む脳機能、物質的基盤を支える身体機能を科学的にとらえ、研究することを目的としています。

早稲田医療学園はこれからも社会のニーズにこたえながら、ここに在り続けていきます。寒さ厳しい季節の折、どうかお身体をご自愛下さい。

2008年12月吉日

【副学科長挨拶】



東洋医療鍼灸学科 副学科長 鈴木盛夫

稲鍼会員の皆様、お元気でいらっしゃいますでしょうか。

私が専任教員になってから今年で8年目になりますが、例年のようにまず国家試験の合格率からご報告致します。75名の新卒業生が受験し、はり師に74名、きゅう師に73名合格致しました。合格率は、はり師98.7%、きゅう師97.3%でした。

5年連続合格率100%に続き97.3%を2年続けてしまいましたが、それでも日本一の合格率を誇っていると自己評価するのは自我自賛でしょうか。

今後は不合格の卒業生を一人でも出さないように反省し、より教育効果の高い独自の方法を開発していきたいと思っています。

その例として、平成13年度以降、本校の卒業認定実技試験はOSCE（客観的臨床能力試験）を行っていますが、これに合格したということは、「患者さんの話に耳を傾け、ていねいに診察を行い、正しく取穴することができ、体表解剖を熟知し、安全な刺鍼と施灸が行え、かつ患者さんに対して思いやりのある態度ができています」ことを学校が保証しているわけです。このような教育を行っている学校は少なく、臨床に結びつくこの教育が、知識のみならず考えることを要求さ

れる最近の国家試験に対して、良い結果を生んでいると考えています。

毎年、卒業生の中から、臨床入門や臨床演習といった授業に、模擬患者さんとして参加して下さる方がいることにより、このような教育を行うことができます。改めて御礼申し上げます。学生たちは、教員の話より先輩方の話を喜びます。皆様が社会に出て感じられたことを、是非学校へもフィードバックして頂きたいようお願い申し上げます。

さらに今の学生たちは臨床で最も大切なコミュニケーション能力について、1年生の頃から考えさせられています。卒業生のみなさんも国家試験前にはグループ勉強したかと思いますが、今の学生は1年生の入学直後からグループ学習しています。ですから学生たちに本校の印象を聞くと、「勉強は大変だが学校はとても楽しい」と答えてくれることが多いです。

是非、そんな楽しく学べる人間総合科学大学鍼灸医療専門学校（次年度より校名が改称します）に学生をご紹介頂きますようお願い申し上げます。

平成20年度の学術大会は、「起立試験による脈拍数・血圧値の変化と精神的・身体的症状の関係について(第3報)」というものでした。3年続けて、授業時間内に2年生全員が実験に参加するという試みですが、実験のために脈拍のとり方、血圧の測定方法の練習が必要なため、実技と研究の両面において勉強になっていると思います。

鍼灸の教育業界は新設校の開校ラッシュで、本校の受験倍率も低下しています。ご存じのように今年度から夜間部の学生はおりません。2年生も昼間部に57名しか在籍しておりません。成績不良の学生も増加しましたが、教員達は彼らの全員を鍼灸師にしてあげたいと努力していますし、実績もあげています。学業成績よりも、絶対に鍼灸師になりたいという強い信念が重要です。そのような方が皆様の周りにいましたら、是非本校にご紹介いただきたいと思います。

また、卒業生で鍼灸治療院を開業されているみなさん、後輩をスタッフにしてみませんか？一昨年より、3月に就職説明会を行っています。大手の治療院から個人経営の治療院まで様々な規模の治療院が参加していますが、本校の卒業生は、比較的早く使い物になるとの評価を頂いています。今年は3月3日（火）と6日（金）に予定しています。興味のある方は、是非担当：鈴木までご一報ください。電話 03-3202-2101、メール amwaseda@human.ac.jp です。

追伸：私のロックバンド SUZUKI には、卒業生が多く参加しています。毎年3月と9月に、新大久保のライブハウス、HOT SHOT でライブを行っています。今年は3月15日（日）に行います。前座を、本校の卒業生バンドがやってくれて、楽しいお祭りになっています。ライブやバンドに参加したい、ライブを聴きたいなど、興味のある方は是非ご連絡ください。

メールアドレスは moriosuzuk@aol.com

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

平成 20 年度 稲鍼会総会議事録

日 時：平成 20 年 6 月 29 日（日）午後 1 時～

場 所：早稲田医療専門学校 本館 2 階 2 年生教室

当日出席者：30 名

議 長：田中 牧夫

議 題

第一号議案

平成 19 年度事業報告および会計・監査報告
工藤幹事による平成 19 年度における事業報告、会計鶴田氏による平成 19 年度会計報告・監査町田氏による平成 19 年度監査報告について、満場一致で承認された。

第二号議案

平成 20 年度事業報告および予算案の件について

工藤幹事より平成 20 年度における事業案についての報告、会計鶴田氏による平成 20 年度予算案について、満場一致で承認された。

第三号議案

その他

役員改選の件について

本年は、役員改選の年に当たり前年の稲鍼会会報において立候補者を募ったところ、立候補する先生がいら

っしゃらなかった

ため、役員会において改正案が提出

され、総会において、満場一致で承認された。これにより、監査の所先生、幹事の阿部先生が退任され、幹事をされていた神部先生が監査となった。また、新たに吉沢先生、梶原先生、特別会員の鈴木先生が幹事となった。

早稲田医療専門学校稲鍼会

財産目録

平成20年3月31日 現在

(単位:円)

科目	
資産の部	
1) 流動資産	
現金・預金	
普通預金 リそな銀行 西早稲田支店	11,013,278
定期預金 リそな銀行 西早稲田支店	10,000,000
流動資産合計	21,013,278
負債の部	
1) 流動負債	
会費前受金 (平成20年度生@15,000×40人)	600,000
預り金 (学生自治会費)	600,000
未払金(H19年度学生自治会費)	15,000
流動負債合計	1,215,000
正味財産	19,798,278

早稲田医療専門学校稲鍼会

第33回 収支計算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

(収入の部)	決算額	内訳	備考	(支出の部)	決算額	内訳
前期繰越金	19,254,416			諸経費	1,130,138	
会費収入	795,000	780,000 15,000	@15,000×52 @15,000×1	通信費		353,920
卒業生対象公開口座	1,150,000	1,150,000	@50,000×23	印刷製本費		244,375
受取利息収入	12,000	12,000	定期預金利息	会議費		92,013
雑収入	17,000	17,000	懇親会会費 等	交通費		225,180
会費前受金	600,000	585,000 15,000	@15,000×39 15,000×1(編入生)	手数料		4,100
収入合計	21,828,416			渉外費		194,500
				褒賞費		14,700
				消耗品費		1,350
				公開講座運営費	300,000	300,000
				会費前受金	600,000	585,000 15,000
				次期繰越金	19,798,278	
				支出の部	21,828,416	

早稲田医療専門学校稲鍼会

平成20年度予算案

平成20年4月1日～平成21年3月31日

単位:円

(収入の部)	予算額	内訳	備考
前年度繰越金	19,798,278		
会費収入	600,000		H20生分(@15,000×40名)
受取利息収入	12,000		預金利息
公開講座会費	1,400,000		(@50,000×28)
会費前受収入	900,000		H21生分(@15,000×60名)
合計	22,710,278		

(支出の部)	予算額	内訳	備考
諸経費	1,226,000		
通信費		389,000	
印刷製本費		268,000	
会議費		92,000	
交通費		247,000	
手数料		5,000	
渉外費		200,000	
褒賞費		15,000	
消耗品費		10,000	
活動促進費	100,000		

【編集部より】

1. 役員改選について

今年度は、役員改選の年に当たり、役員の改選が行われました。監査に幹事でいらっしゃいました神部先生が、また幹事でいらっしゃいました阿部先生が体調を理由にご辞退され、新たに吉沢真先生、梶原悟先生に幹事をお願いいたしました。また特別会員である鈴木盛夫先生が新たに幹事に就任いたしました。

2. 教員の移動について

早稲田医療専門学校、東洋医療鍼灸学科において、移動がありましたので報告いたします。また、専任教員でありました二本松明先生が、人間総合科学大学へ移動となり本校には非常勤講師として、授業をさせていただいております。

3. 稲鍼会の活動について

今年度の稲鍼会総会での特別講演は「鍼灸師が使えるリラクゼーションテクニックについて」と題し清水克郎先生（第32期Ⅰ部卒業生）に、学園祭は「アロマセラピーの効果と実践」と題し菅野かおり先生（第27期Ⅱ部卒業生）にご講演いただきました。

4. 訃報

長年、稲鍼会の監査をしていただいております所茂雄先生、学校と中国の間で奔走して頂きました蕭華堅先生がお亡くなりになりました。長年稲鍼会へ、また学校へ貢献していただきましたことに深謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。



稲鍼会総会および懇親会の様子

【編集後記】

稲鍼会事務局長 町田雅秀

稲鍼会会員の皆様、お元気でご活躍でしょうか？ 先生方のご協力を頂き、「平成20年度稲鍼会会報」を発行することが出来ました。ご協力頂いた皆さんにお礼を申し上げたいと思います。

さて、すでにご承知かと思いますが、今年4月より、「早稲田医療専門学校」が「人間総合科学大学鍼灸医療専門学校」に校名変更となります。また、校名変更に伴い卒業後1年制の臨床専攻科を開設します。

この臨床専攻科には2つのコースがあり、姉妹校の人間総合科学大学との連携により、大学編入し学士を取得するコースです。もう一つは、学校で学んだ知識と技術を基に更に学習し、応用力を発揮でき開業や就職に活かせる臨床研修コースです。2つのコースを同時に学習することも出来、最短1年間で学士取得と臨床研修を学習することが可能となります。詳細については学校までお問い合わせください。

「早稲田」の名称が学校名からなくなりますが、学校の中身は変わらず今まで培われた本校の伝統と実績は継承され、つぎの時代へ引き継がれて行きます。

【お願い】稲鍼会の皆様、知人・友人ご家族、お知り合の方で「鍼灸師になりたい」とお考えになっている方がいらっしゃいましたら、是非、人間総合科学大学鍼灸医療専門学校にご紹介ください。会員皆様からのご推薦をお待ちしております。

末筆ながら、稲鍼会会員皆様の益々のご活躍と、ご健康・ご多幸をお祈りいたします。

発行人：稲鍼会会長 高橋 次雄

稲鍼会会報：平成 20 年度号 平成 21 年 1 月発行

稲鍼会事務局：早稲田医療専門学校

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-18-4

TEL 03-(3202)-2101 FAX 03-(3202)-2103

早稲田医療専門学校ホームページアドレス

URL：http://www.wasedat.human.ac.jp/toushinkai/index.html

E-mail：amwaseda@human.ac.jp